

## C16c 木曾観測所が行なうパブリックアウトリーチ、I 銀河学校

樽沢賢一、西浦慎悟、中田好一、田中培生、宮田隆志、青木勉、征矢野隆夫、三戸洋之(東京大学木曾観測所)

東京大学木曾観測所では、1998年から全国の高校生を対象とした天文学体験教室として、春休みに「銀河学校」を開催している。この「銀河学校」では、参加者自身が観測から解析、研究発表までを一貫して行い、天文学の研究を体験してもらうことを目的としている。天体の観測には木曾観測所 105cm シュミット望遠鏡と木曾観測所の共同利用装置を用いている。参加可能人数に限られるため、応募の際に作文提出を求めており、その作文を審査して参加者を選考している。1998年からこれまでに述べ 89 名の参加者があった。最近では「銀河学校」の参加者の中から、実際に天文学をめざして大学へ進学している学生もあり、少しずつではあるが銀河学校の成果が見え始めている。なお、第 1 回から第 3 回までの「銀河学校」は、文部省の理工系教育推進経費の配分を受けて行なわれた。ポスターでは、「銀河学校」5 回分の内容を紹介をする。

今までの銀河学校のテーマ、参加者数

第 1 回	1998 年 3 月 24 ~ 26 日	「散光星雲の可視、近赤外観測」	30 名
第 2 回	1999 年 3 月 22 ~ 24 日	「球状星団 M 3 の年齢を求める」	12 名
第 3 回	2000 年 3 月 27 ~ 29 日	「散開星団の HR 図の作成と比較」	15 名
第 4 回	2001 年 4 月 03 ~ 05 日	「対物プリズムを使った天体の分光観測」	13 名
第 5 回	2002 年 3 月 25 ~ 27 日	「多色撮像による系外銀河の色分布の研究」	19 名